

教育環境分科会 2015 年度第 1 回会合 アンケート結果

<基本情報>

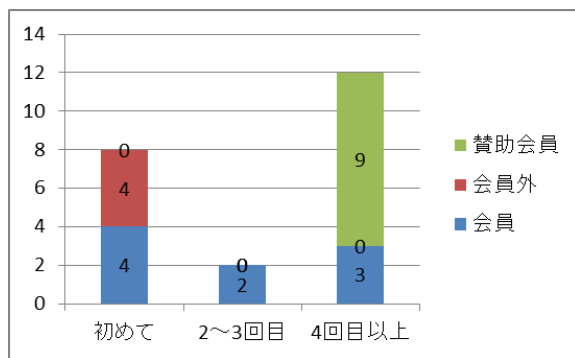
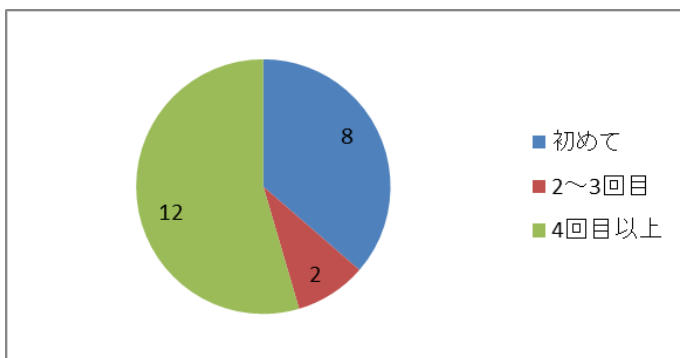
- ・テーマ：学習者主体の学びとその支援 -新しい学びの環境作りと活用-
- ・日 時：2015 年 8 月 25 日(火)
- ・場 所：富士通(株)本社 6 階 プレゼンテーションルーム

1.参加回数について

	出席者数	アンケート回収数	回収率
会員	12	9	75%
インターン	13	13	100%
会員外	12	4	33%
賛助会員	30	9	30%
計	67	35	52%

※USTREAM によるライブ配信を実施。
合計視聴者数(のべ人数) 55 名。

2.参加回数について(インターン 13 名除く)

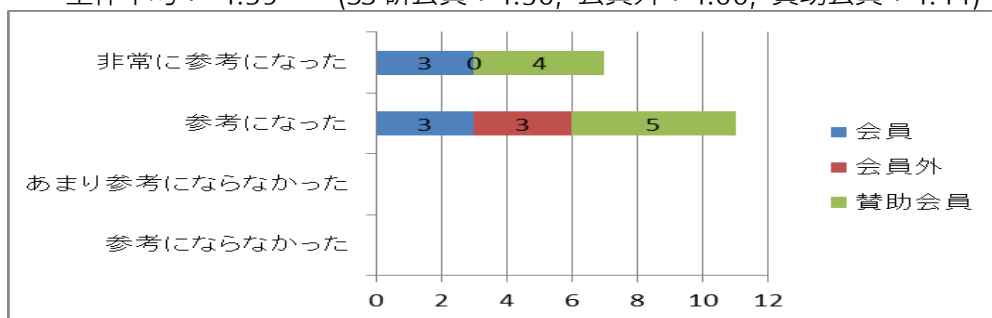


3.イベントを知ったきっかけ(インターン 13 名除く)

		合計	会員	会員外	賛助会員
a	SS 研メールサービス	7	3	0	4
b	SS 研 Web サイト	5	0	0	5
c	SS 研 facebook	0	0	0	0
d	SS 研郵送物(SS 研だより)	0	0	0	0
e	SS 研以外の学会・研究会などのメールサービス	1	0	1	0
f	知人からの紹介	2	0	2	0
g	イベント関係者からの紹介(インターン含)	3	3	0	0
h	その他	4	3	1	0

4.総合評価(インターン 13 名除く)

全体平均： 4.39 (SS 研会員： 4.50, 会員外： 4.00, 賛助会員： 4.44)



<SS 研会員>

- ・自分がイメージしていたもの以上のことを得ることができました。
- ・このような機会に参加することが無かったため、色々な意見や事実を知り得ることができ、+になった。
- ・教育についての様々な観点からより良い教育にしようと SS 研という場で話されて、広がっていくんだなと感じました。

- ・人は汗をかいてこそ学べる。学習を促進させるための道具、例えば PC 必携、ポートフォリオ、LMS、そしてワークショップで出された便利ツール等は、どんどん使っていけるようになるので、うまく利用しながら自分の頭、手、目、耳、口を動かして学んでいく重要性をふと感じた分科会でした。

5.各講演のご感想

①金沢大学における ICT の教育への活用 発表者：森 祥寛 (金沢大学)

<インターン>

- ・ICT を使わざるを得ない環境を作り上げてパソコンを使うことに抵抗がある先生を巻き込むシステムの構築に驚きました。
- ・国は意外と教育にお金を出しているのだと知れた。補助金が無くなっても ICT を推進し続けることが大切で、推進し続けようという強い意志を持った中心人物が Key となると思いました。
- ・スマホを持ち始める年齢がどんどん若くなっているので、スマホを使った教育をもっと充実させていかなければならないと感じた。

<賛助会員>

- ・「研究者のマインド育成」というキーワードが印象的でした。

②ICT がつなぐ中等教育と学術研究との連続性 発表者：木村 健太 (広尾学園)

<SS 研究会員>

- ・エキサイティングな報告でした。中高生があそこまでやれるとは！

<インターン>

- ・研究内容が思った以上に高いレベルで驚いた。
- ・思考力、表現力の向上を促すような教育ができていない日本にとって、広尾学園様の取組は希望の光だと感じます。
- ・中等教育からこういった学ぶ環境が等っていることは、生徒にとってはとても力になると思った。
- ・私も中学・高校の時に、広尾学園のような教育が受けられていたら、もっと人生が変わってのかもしれないと思いました。

<賛助会員>

- ・研究に対する取組が素晴らしいです。生徒の意欲につながる要素が参考になりました。

③e ポートフォリオ研究 WG 成果報告 ～大学教育改革における e ポートフォリオの動向～ 発表者：小松川 浩 (千歳科学技術大学)

<SS 研究会員>

- ・e ポートフォリオ導入の現状がたいへんよくわかりました。

<会員外>

- ・大学の実情が良く分かった、また e ポートフォリオについていろいろ知ることができた。

<インターン>

- ・自己評価・他社評価を 4 年間積み重ねて、自己分析ができることは、就職活動の際に活かせるツールになるので効果的だと感じました。
- ・これからの教育改革に向けて、学部教員等の流れを見て何が必要なのかを見極めて e ポートフォリオが出てきているので、これからの教育が楽しみである。
- ・自身が大学への提案として考えているものと被っているものであったので、とても参考になりました。

④ワークショップ ～新たな学びの空間を生み出すモノ・コトを考える～ 発表者：宗貞 義朗 (富士通デザイン)

<SS 研究会員>

- ・ファシリテーションの 1 手法を学ばせて頂きました。授業でも使ってみたいと思います。

<インターン>

- ・新しいモノ・コトを生み出すというのは楽しさもあるし、頭をととも使うことだと感じた。
- ・短い時間でも色々考えられるのだな、と思った。
- ・他の方の考えも聞くことも大事ですね。自分では思いつかなかったことが聞いてよかったです。
- ・新しい考えを生み出すのは難しかった。

6.今後取り上げて欲しいテーマ

<SS 研究会員>

- ・授業改善、入試改革、高大接続。

<インターン>

- ・広尾学園で行われているような学生が主体的に学ぶ大学の教育について掘り下げていけると面白いと感じました。
- ・これから、全国内の大学は、e ポートフォリオを取り上げるべきあると思う。

<賛助会員>

- ・IoT、センシングソリューション（特に九州大学の）
- ・データ分析の活用法について（学生のモチベーションアップにつながりを持たせる事例等）
- ・情報共有の方法（教師同士、保護者 \leftrightarrow 教師、教師 \leftrightarrow 生徒）

7.企画、運営について

<会員外>

- ・非常に良い企画だったと思う。

<インターン>

- ・講演時間、質問時間が短いと感じました。もっと聞きたいと感じる場面が多かったです。
- ・講演とワークショップという2つの構成が良い。特にワークショップでは、新しさを感じたキーワードと教育における課題の組み合わせることで自分でも考えつかなかったものを発案できて、とても効果的なやり方だと思いました。

8.SS研活動全般について

<インターン>

- ・自分の中にない発想が多く聞け、いい刺激を受けることができました。有り難うございました。
- ・教育という大きな枠の中で、様々な視点から教育×ICTのお話が聞けてとても勉強になりましたし、楽しかったです。
- ・これからの教育のために、社会の変化ということ为背景にして、より良い教育環境にしようと共有して話されている場があることがいいなと思いました。このような場に参加できて良かったです。

以上